

# 学習会

職員の知識や技術を学び共有することを目的に、法人として継続的に学習会を開催しています。9月、10月にはそれぞれ次の学習会を行いました。

## 9月10日 口腔ケア学習会

講師 歯科医師 楡井喜一先生  
歯科医師 小出光先生

当法人では、ご利用者の口腔ケアに重点的に継続して取り組んでおり、その定義や目的を再確認するため、楡井先生、小出先生の両先生よりご講義をいただきました。口腔ケアは口腔機能を改善するばかりでなく、ご利用者の生活の質を高める取り組みの1つであることを再確認しています。

また、講義の中でプロバイオティクスを使用した口腔ケアの紹介をいただき、法人内で取り組みを始めています。

### プロバイオティクスとは？

体が本来備えている病原性細菌に対する抵抗力を高めるように働く微生物のことです。中でも乳酸菌LS1は、歯周病菌を死滅させ、虫歯菌の活動を抑制する働きがあるとされています。



## 10月7日 感染対策勉強会

講師 新潟県立看護大学 助手  
内藤 みほ様

感染症は年間を通じた予防対策が必要とされますが、これからの時期は特に感染症の流行期となります。流行期を控え、主だった感染症とその対策について理解を深めることを目的として、内藤様よりご講義をいただきました。

また、感染予防の基礎となるスタンダードプリコーション（標準予防策）の考え方のもと、手指衛生の大切さや各種防護具の着脱の仕方について演習を通じたご指導をいただき、感染予防への理解を深めることができました。

### スタンダードプリコーションとは？

病院感染予防策の基本として、すべての患者の「血液・体液・分泌物・排泄物・粘膜・損傷した皮膚」を感染の可能性のある物質として取り扱うことをいいます。病院だけでなく、一般的な感染予防の考え方としても用いられ、嘔吐物などもこれに基づいて処理を行う必要があります。

